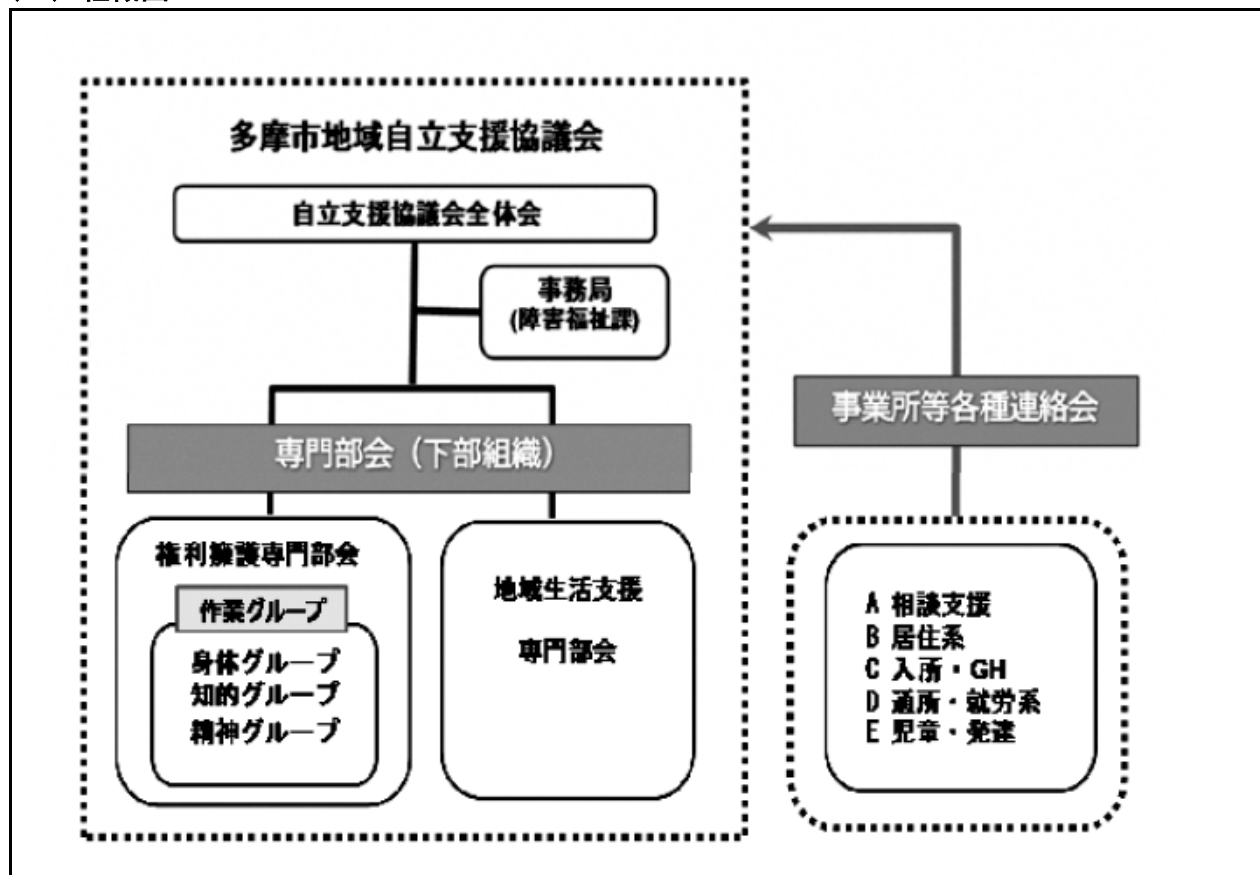


1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 多摩市地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.tama.lg.jp/kenkofukushi/1008237/shoigai/torikumi/1003058.html>

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）	専門部会等	ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）
-----	-----------------------------	-------	-----------------------------

イ 開催時間

全体会	平日夜間（業務時間外に係る時間帯）	専門部会等	平日夜間（業務時間外に係る時間帯）
-----	-------------------	-------	-------------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経験年数
1	会長	吉井 智晴	東京医療学院大学	学識経験者		長期
2	副会長	市川 香織	社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センター	医療関係者		長期
3	副会長	藤吉 さおり	多摩市在宅障害者の保障を考える会	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期
4		荒井 和代	東京都南多摩保健所	保健所		1
5		植草 久子	東京都立多摩桜の丘学園	教育関係機関		1
6		大石 欣也	多摩市聴覚障害者福祉協会	障害当事者（ピアサポーター含む）		1
7		折笠 富子	自立ステーションつばさ	障害当事者（ピアサポーター含む）		1
8		角川 昇吾	NPO法人多摩草むらの会	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験年数
9		川辺 一成	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会	社会福祉協議会		長期
10		北山 文子	NPO法人障害者自立支援センター多摩	障害福祉サービス等事業者		長期
11		佐藤 享美	社会福祉法人正夢の会	障害福祉サービス等事業者		1
12		瀬尾 敏也	多摩市視覚障害者福祉協会	障害当事者（ピアサポーター含む）		1
13		登坂 晃	社会福祉法人啓光福祉会啓光学園	障害福祉サービス等事業者		長期
14		中原 さとみ	社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院	医療関係者		1
15		野路 和之	障害者就業・生活支援センター TALANT（タラント）	雇用関係機関		長期
16		松澤 哲男	多摩市手をつなぐ親の会	家族・関係団体		長期
17		山田 千昭	バック多摩	障害福祉サービス等事業者		1
18		山本 和泉	社会福祉法人時の会	障害福祉サービス等事業者		1

（２）委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	権利擁護 専門部会	地域生活 支援 専門部会
学識経験者		1		
医療関係者		2	1	2
保健所		1		
教育関係機関		1		
雇用関係機関		1		
企業		0		
障害当事者（ピアサポーター含む）		5	7	
家族・関係団体		1	5	
身体・知的障害者相談員		0		
相談支援事業者		0		2
障害福祉サービス等事業者		5		7
社会福祉協議会		1		
法曹関係者		0		
民生委員・児童委員		0		
地域住民		0		
行政職員（区市町村）		0		
行政職員（都）		0		
その他		0		
計		18	13	11

３ 地域自立支援協議会の活動状況

（１）地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

令和６年を始期とする計画策定に向けた協議。

（２）地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

各部会や事業所等連絡会からあげられた課題や全体会に出席する委員からの情報を全体会において共有している。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

各部会や全体会において、福祉、教育、医療、保健等の各分野から委員が出席することで分野を超えてのネットワークを構築し、協議を行っている。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害福祉計画等の策定に向けた、福祉、教育、医療、保健等の各分野の委員との進捗管理や調整を行った。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

障がい者（児）数の増加、支援ニーズの多様化に向けた、支援体制づくり

④ アンケート・ヒアリング等で把握した案件から取り上げている

障害福祉サービスを支える人材の確保・定着、障害理解・差別取組の推進、わかりやすい情報提供・情報発信、アクセシビリティの向上など

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

協議会での事例検討・振り返りを行った。

③ 権利擁護・虐待防止

障がい当事者の意見を集約したハンドブックを利用し、権利擁護・虐待防止に向けた周知を行った。

⑥ 緊急・災害等対応

防災対策に関する協議を進め、人工呼吸器使用者の個別支援計画の策定等の取組を進めた。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

各自治体で解決できる問題ではなく、東京都全体で取組むことが効果的であると考えられるため。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	活性化した。	専門部会等	活性化した。
-----	--------	-------	--------

イ 活性化したと評価する理由

委員の改選を行い、障害当事者を委員に加えたことで、より当事者目線の意見を聴取できるようになったため。